

「今の子どもたちは、いい育ちをしていると考えますか？」この質問は、総務省の青少年基本調査の中の一つです。

対象は小学校4年生（9歳）から中学校3年生（15歳）までのお父さんやお母さんだったようですが、実にその6割（59・4%）の方がいい育ち方をしていないと回答をしているそうです。

では、どういうところが問題だと思っているのでしょうか。多くの方が、自己中心的である、わがまま勝手である、ほかのひとの付き合い方を知らない、あるいは我慢が出来ない、こらえ性が無いと思っ

ているそうです。このことから、子どもたちの周りの大人たちが考えなくてはいけないことがたくさんあると思います。どうして自己中心的なのか、どうしてわがまま勝手なのか、どのように育てたからこのようになったのか、何を大事にして育てたのか、何を大事にしていなかったのか、

これらは問題、実は大人たちの姿ではないのか。子どもたちと日々関わっていく中

で、大人の都合を優先したり、子どもの声をきちんと聞こうとしなかったことはなかったでしょうか。

子どもは、乳幼児期にお母さんを大好きになり、お父さんを、家族の人を大好きになっ

ていきます。しかし、人間の基礎を培う大事な乳幼児期に大好きな人が出来ないと育っていく段階でさまざまな問題を起こすといわれます。大好きな人が出来るといことは、愛されて育てられたという

ことなのです。愛されて欲求をかなえてもらい、話を十分聞いてもらった子どもは、自分と同じくらい周りの人を大事にします。自己中心的であつたり、わがまま勝手だつたり、ほかのひとの付き合い方を知らないのは、周りの人に対する不信感や、心の寂しさが起こさせる行動ではない

かと、一度は大人自身が子どもの心の目線に立って考えることが大事だと思います。乳幼児期をしっかりと育てられると、後は安心とも言われます。「心」の育ちを大事にできるような子育てをしたい

ありがとうございました

次の方々からご好意、ご寄付等をいただきました。厚くお礼申し上げます。（順不同 敬称略）

■まごころ銀行へ

▽十亀世津子（樋之口）、▽中島雪美（正法寺）、▽矢野邦昌（壬生川）、▽笹本陽地（三津屋）、▽稲生 豊（北条）、▽越智スガ子（北条）、▽藤原一重（高田）、▽西条ライオンズクラブ、▽三芳地区民生児童委員協議会、▽国興産業(株)、▽多賀小学校PTA、▽徳田小学校PTA、▽中川小学校PTA

■老人ホーム明水荘へ

▽生け花指導 稲住育子（下島山甲）、▽散髪 伊藤泰博（明神木）、▽新聞 芥川秀人（神拝甲）、▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子（大町）、長瀬 皋（中野甲）、▽カラオケ・ハーモニカ演奏・クイズ 徳増幾次郎（天神）、▽リコーダー演奏・合唱・遊び 神拝小学校4年生、▽踊り・カラオケ・菓子 西条市社会福祉協議会西条支部、▽踊り・カラオケ・現金 大町老人クラブ福寿会

■老人ホーム石燧園へ

▽カラオケ・ゲーム等 徳増幾次郎（天神）、▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部、▽歌・カステラ・楽器演奏等 花園保育園、▽歌・踊り・折り紙・お手玉・現金・花かご等 富士保育園

■特別養護老人ホーム道前荘へ

▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ、▽一日喫茶手伝い 小松西保育所保護者会、▽歌・踊りボランティアしらさぎ、▽車椅子清掃・窓ガラス拭き J A周桑女性部健康福祉部

小学1年生に防犯下敷きを贈呈

3月10日(月)、(株)ルネサステクノロジ西条事業所から市内の新入学児童全員に防犯下敷き「イカのおすし」（1200枚）が贈呈されました。贈呈式では市教育委員会関係者出席のもと、宮本佳幸西条工場長から防犯協会長である伊藤市長に手渡されました。

「イカのおすし」とは子どもたちが犯罪にあわないための約束ごととして、「イカ」=行かない、「の」=乗らない、「お」=大声でさけぶ、「す」=すぐにげる、「し」=知らせる、を呼びかけるものです。



ピアノが寄贈されました

3月10日(月)に、天神の大谷宣彰さんから庄内保育所へ、ピアノが寄贈されました。